

富山県看護連盟・合同支部研修会報告（平成 30 年 7 月分）

区分	内 容
会の名称	富山県看護連盟 魚津・黒部支部・上市支部合同研修会
研修の 目的 ねらい	会員に対し看護連盟の理解及び看護と政治について関心を高め看護職の課題を探る。また、会員相互の親睦を図る。
開催日	平成 30 年 7 月 21 日（土）10：00～12：00
会場	新川文化ホール 研修室
主催	富山県看護連盟魚津・黒部支部・上市支部
対象者	会員 非会員
出席者数	64 名 かみいち総合病院 14 名 厚生連滑川病院 14 名 黒部市民病院・あさひ総合病院・富山ろうさい病院
研修方法	1. 講演 2. グループワーク
内容	1. 講演 「富山県看護連盟の現状と課題」 講師 富山県看護連盟 三谷順子会長 2. グループワーク「現場の声を聞かせて下さい」
特記事項	1. 講演では、三谷会長より看護政策の必要性、看護連盟のあゆみについて、説明があった。今の看護を守り、未来に繋げていくためにも、世の中に認められる看護界を一人ひとりがプロの自覚をもち、発信していく必要性を学んだ。看護連盟はベッドサイドの問題を政策に反映させ、その為には私たちの代表を国家へ送らなければならない。リーダー・サブリーダーの役割についても学んだ。投票につながる魅力ある活動をする必要がある。 2. グループワークは、各施設交わり、活発な意見交換がなされた。話し合った内容を発表し、三谷会長より講評を得、一層の知識、情報を得ることができた。看護の現場の問題を、どう解決していけるか、自分たちも考え整理し、病院単位、県協会、連盟、そして国政に届ける声かを、検討していかななくてはならない。看護の魅力も問題もどんどん発信し、看護の価値を認められるよう、看護師自身が活動を活性化していかななくてはならないことを学んだ。

提出日・提出者：平成 30 年 7 月 21 日 古金

資料添付 (有) 無

平成 30 年度 魚津・黒部支部、上市支部合同研修会

日時：平成 30 年 7 月 21 日（土）10：00～12：00

場所：新川文化ホール 研修室

出席者：64 名

講演：「看護連盟の現状と課題」

講師：富山県看護連盟 三谷順子会長

<研修風景>



<現場の声を聞かせて下さい。グループワーク 10・発表>

